

令和5年度入学生用カリキュラムマップ

【中高教職課程】

●教職基礎科目

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	中高教職課程修了に必要な資質能力大項目									
					凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目									
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII		
23JTES1001	日本国憲法	1	教職を目指す人の基礎的な素養として、日本国憲法の基本的な理念・体系・機能等について学ぶ。	①日本国憲法についての関心を高め、基本的知識をもつ。②社会の諸事象や日々の生活の中で起こる諸問題を日本国憲法に照らして考えることができる。③学校教育と憲法との関わりについて、自ら考える能力を身につける。		◎								○

●教育の基礎的理解に関する科目等

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	中高教職課程修了に必要な資質能力大項目									
					凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目									
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII		
23UTES1002	教育原理	1	教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育および学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。また、教育実践に関わる基礎理論と実際の取り組みを学び、現代教育の抱えている課題を理解する。	①教育という営みの基本的概念、および教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解している。②教育の歴史に関する基礎的知識を身につけ、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育および学校の変遷を理解している。③教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育および学校との関わりを理解している。		◎								○
23UTES4003	教育史	4	1. 西洋・日本の教育史を概観することにより、教育を歴史的側面から考察する力を育成する。 2. 教育思想の現代的意義を探究する力を育成する。 3. 現代日本の教育課題について、歴史的に考察する力を養う。	①古代から現代に至る西洋・日本の教育思想・制度の特徴を理解し、歴史的背景や現代的意義を考察できる。②教育の歴史を学ぶことにより、現代日本の様々な教育問題を理解できる。③教育思想を学ぶことによって、中高教員としての教育観を形成する。		◎							○	
23UTES1004	教職入門	1	1. 中高教員または栄養教諭として必要な資質能力や基礎的知識について講じる。 2. 特に教職の意義および役割、職務内容についての理解を深める。 3. 教育への理解と教職への関心を高め、進路選択における主体的な夢を喚起し、以後の学年次の教職課程履修への自覚と意欲を高揚させる。	①教職全体について総合的に理解し、4年間の大学生活および教職課程履修について、学ぶ意欲と計画性を高める。②教職の意義や教員の果たす役割を理解し、教職を志す意識を明確にもつ。③明確な教員像をもつことができるよう、教員の職務内容は校務分掌に基づき分担され、学校が組織として機能していることを理解する。	◎	◎							○	
23UTES1005	教育行政学	1	1. 中高教員または栄養教諭に必要なわが国現行の公教育制度とその行政・政策システムに係る教育法規について教育行政学の視点から講義し、理解を深める。 2. 現代の公教育制度を運営・管理・改革する教育行政およびその実践主体としての学校の経営と学級経営について、基礎的知識・技能を学ぶ。	①教育的行為が日常的に展開されている基本的な教育空間と教育機能等について基礎的理解を得る。②公教育制度としての学校教育システムについて、法制度の視点から基礎的知識を得る。		◎			○				○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	中高教職課程修了に必要な資質能力大項目								
					凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目								
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
23UTES1006	教育心理学	1	1. 幼児、児童および生徒の心身の発達および学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎を身につける。 2. 心理学の代表的な理論を学ぶことで、乳幼児期から青年期の各時期における運動・言語・認知・社会性の発達および発達上の問題のある子どもへの対応に関する知識と技術を獲得し、主体的学習を支える記憶、行動、動機づけ、集団づくり、学習評価のあり方などについて、発達の特徴と関連づけて理解する。	①乳幼児期から青年期の各時期における運動・言語・認知・社会性の発達および発達上の問題のある子どもへの対応に関する知識と技術を獲得している。②主体的学習を支える記憶、行動、動機づけ、集団づくり、学習評価のあり方などについて、発達の特徴と関連づけて理解している。③教育における心理学の意義を理解し、具体的な問題解決を志向する態度を身につけている。			◎						○
23UTES2007	発達心理学	2	1. 人間の発達を単なる成長と捉えることなく、乳幼児期から青年期の各時期に起こる様々な事象を通して発達し続けていることを学ぶ。 2. 特に人間の心理的発達について、心理学的視点から考察を深める。	①乳幼児から成人までの発達過程を理解する。②中学生および高校生の発達課題を理解し、教育実践に生かすことができる。			◎						○
23UTES3008	特別支援教育論	3	1. 特別支援学校教員だけでなく、通常学級担任も各種障害について知識や技能が求められていることの現状と背景について講じる。 2. 各種の障害を有する幼児・児童・生徒への効果的な教育や支援のあり方や関係機関との連携を密にした教育実践を行うための知識や技能を理解する。	①各種の障害および障害児について基本事項を理解する。②障害児を指導するための実態把握や指導方法を知る。③各種の障害に基づいた教育のあり方を理解する。④障害児を育てる保護者の心情を理解する。⑤障害児者が置かれている社会的状況を知る。⑥事例をもとに指導方法を考えることができる。							◎		
23UTES2009	教育課程総論	2	1. 新教育基本法によるわが国教育の基本的な目的と方向性を理解し、特に「新学習指導要領」の理念や教育課程についてその基本となる事項や実践上の課題等、具体的な理解を図る。 2. 現場での教育課程の編成、方法や技術など教育活動をより効果的に実践していくための運営とその能力を育成する。	①学習指導要領を理解し、教育課程編成の基準となる事項および教育活動の内容を理解する。②教育課程論、教育内容・方法論等に関する具体的実践事例を通して、学校教育のあり方、カリキュラムのあり方を常に創造的に問い直すことのできる能力と姿勢を身につける。		○		◎	○				
23UTES2010	道徳教育指導論(注) (注)「道徳教育指導論」は、高等学校教職課程においては「大学が独自に設定する科目」	2	1. 学校教育活動全体の中で、意図的・無意識的に道徳的な心情・判断力・実践意欲と態度などの道徳性を形成していることを知る。 2. その過程で、自らを律しつつ、人間として円満に成長する「あゆみ」について探究し、今後の道徳教育のあり方と実践方法・教材等について探求する。	①道徳教育に関する基本的な概念を理解する。②「生きる力」を育むことにより、中学生一人ひとりの豊かな心を育て、人生・社会を切り拓く実践的な力の育成を図る。③実際に中学校において道徳を指導する場面を想定し、指導案の作成や教材研究を試みながら「特別の教科 道徳」を担当できる知識と技術を身につける。	○			◎		○			○
23UTES3011	総合的な学習の時間と特別活動	3	中学校学習指導要領に示された総合的な学習の時間、高校学習指導要領に示された総合的な探究の時間、および特別活動の特徴をとらえとともに、具体的な演習等を通して、中等教育における総合学習、総合探究、および特別活動の指導のあり方について理解を深める。	①学習指導要領における総合的な学習・探究の時間、特別活動の目標および内容を理解している。②教育課程上の位置づけや他教科等との関連を理解している。③活動の特質を理解し、適した指導法のあり方について理解している。						◎		○	○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	中高教職課程修了に必要な資質能力大項目								
					凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目								
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
23UTES4017	教育実習事前事後指導(中高)	4	1. 中学校または高校教育の意義や実際の教育活動について、実習校の実態を踏まえて総合的に学修する。 2. 教育実習の意義を理解する事前指導として、教職課程におけるこれまでの学びを踏まえ、中学校または高校教員としての必要な知識・技能・態度等を具体的に修得する。 3. 事後指導として、実習体験を振り返り自らの実践的課題を把握し中学校または高校教員への志を確認する。	①教育実習の意義を理解する。②教育実習に関する基本的な知識・技能・態度について学修する。③学習指導案作成の仕方を修得する。④学習指導案に基づき模擬授業を実施できる。⑤事前指導により教育実習に臨む意欲を高め、事後指導により教職への志を確立する。	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎
23UTES4018	教育実習 I (中高)	4	これまでの教職課程での学び全体を通して得た知識・技能と専門教育課程科目で得た知識・技能とを統合して、教育実習で積極的に活用する方法と態度を学ぶ。中高教員としての使命感や責任感、社会的対人関係力、生徒理解と学級経営力、教科指導力および授業力を総合的に高める。	①教員としての志＝目的意識および倫理観(感)を明確にもつ。②教員・社会人としての対人関係能力を高める。③学級経営・生徒指導を実践する際の理念・構想・実践プランを具体的に描くことができる。④専門教科指導に要する基礎的な知識・技能を有し、個別の授業を構想し指導案を作成して、授業を展開できる。⑤専門教科以外の教育活動領域について、基礎的な知識・技能を有している。	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎
23UTES4019	教育実習 II (中高)	4	これまでの教職課程での学び全体を通して得た知識・技能と専門教育課程科目で得た知識・技能とを統合して、教育実習で積極的に活用する方法と態度を学ぶ。中高教員としての使命感や責任感、社会的対人関係力、生徒理解と学級経営力、教科指導力および授業力を総合的に高める。	①教員としての志＝目的意識および倫理観(感)を明確にもつ。②教員・社会人としての対人関係能力を高める。③学級経営・生徒指導を実践する際の理念・構想・実践プランを具体的に描くことができる。④専門教科指導に要する基礎的な知識・技能を有し、個別の授業を構想し指導案を作成して、授業を展開できる。⑤専門教科以外の教育活動領域について、基礎的な知識・技能を有している。	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎
23UTES4020	教職実践演習(中高)	4	1. 中学校または高校教員の使命と役割、職務の内容を理解し、学校教育において教員に求められる実践力を最終確認し、補完指導を行う。 2. 学生自身が教育実習や学校ボランティアなどで経験した内容を伝え合い、意見を交流する中から問題意識を起こさせ、それを解決する姿勢を育成する。 3. 中学校または高校当該教科の授業内容についての理解を確認し、授業構築の方法について実践の観点から検討し、授業運営の基本的な知見を身につける。	①中学校および高校の教員として、高い教職倫理観を有している。②地域社会の人々から教員として信頼される対人関係を構築することができる。③生徒を臨床的に理解し、この理解を踏まえて望ましい学級経営を展開することができる。④中高教科を教授するに要する専門的知識および技能を有し、これらを活用して効果的授業を展開できる。⑤自らが実施した専門教科の授業(模擬授業を含む)について自己評価を行い、これに他者評価を加えて、授業改善を行う態度および授業運営能力を身につけている。	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎

●各教科の指導法

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	中高教職課程修了に必要な資質能力大項目								
					凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目								
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
23UTES2021	国語科指導法 I	2	1. 中高国語科における教育目標と育成したい資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について理解を深める。 2. 背景となる「教科に関する専門事項」について、指導法という観点から理解する。	①学習指導要領における中高国語科の目標および主な内容並びに全体構造を理解している。②中高国語科の個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。③中高国語科の学習評価の考え方を理解している。④中高国語科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。⑤中高国語科の授業を構想する能力を身につける。					◎				○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	中高教職課程修了に必要な資質能力大項目								
					凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目								
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
23UTES2022	国語科指導法Ⅱ	2	1. 様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行い、中高国語科の授業を構築する力を身につける。 2. 中高国語科を教授する際に必要となる教材活用の理論と方法について学ぶ。	①生徒の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。②中高国語科の特性に応じた教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。③学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。				◎					○
23UTES3023	国語科指導法Ⅲ	3	1. 中高国語科の授業を実施するための教科指導力・授業実践力を修得する。 2. 授業を行うにあたって必要な「教員としての振る舞い」を学ぶ。	①模擬授業において授業を実施できる。②模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。③発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。④授業での授業者としての立ち居振る舞いとコミュニケーション能力を身につける。				◎					○
23UTES3024	国語科指導法Ⅳ	3	1. これまでの歴史と現在の課題を学び、中高国語科の教員としての資質を身につける。 2. 中高国語科における教育の実践的課題を引き受け、授業を構想する教員としての実践力を探求する。	①中高国語科における教育の歴史を学び、自身の指導に取り入れることができる。②中高国語科における教育の現代的課題を知り、対応する力を身につける。③中高国語科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。④中高国語科の特性に応じた情報機器の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。				◎					○
23UTES2025	書道科指導法Ⅰ	2	高校芸術科書道の教育に関する基礎的な知識を学び、模擬授業を通して実践力を養う。	①学習指導要領の内容とそのねらいを理解することができる。②高校での指導実践を参考にして、指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。③学習評価に関する知識を得ることができる。				◎					○
23UTES2026	書道科指導法Ⅱ	2	高校芸術科書道の教育に関する知識を深め、模擬授業を通じた実践力を高める。	①書写書道教育の歴史を理解することができる。②書道教育で育成する力を年間計画の形で構造化することができる。③ねらいを明確にした授業作りを行うことができる。④書道教育研究の動向について、知識を得ることができる。				◎					○
23UTES2027	英語科指導法Ⅰ	2	1. 中高英語科における教育目標と育成したい資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について理解を深める。 2. 背景となる「教科に関する専門的事項」について、指導法という観点から理解する。	①学習指導要領における中高英語科の目標および主な内容並びに全体構造を理解している。②中高英語科の個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。③中高英語科の学習評価の考え方を理解している。④中高英語科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。⑤中高英語科の授業を構想する能力を身につける。				◎					○
23UTES2028	英語科指導法Ⅱ	2	1. 様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行い、中高英語科の授業を構築する力を身につける。 2. 中高英語科を教授する際に必要となる教材活用の理論と方法について学ぶ。	①生徒の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。②中高英語科の特性に応じた教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。③学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。				◎					○
23UTES3029	英語科指導法Ⅲ	3	1. 中高英語科の授業を実施するための教科指導力・授業実践力を修得する。 2. 授業を行うにあたって必要な「教員としての振る舞い」を学ぶ。	①模擬授業において授業を実施できる。②模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。③発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。④授業での授業者としての立ち居振る舞いとコミュニケーション能力を身につける。				◎					○
23UTES3030	英語科指導法Ⅳ	3	1. これまでの歴史と現在の課題を学び、中高英語科の教員としての資質を身につける。 2. 中高英語科における教育の実践的課題を引き受け、授業を構想する教員としての実践力を探求する。	①中高英語科における教育の歴史を学び、自身の指導に取り入れることができる。②中高英語科における教育の現代的課題を知り、対応する力を身につける。③中高英語科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。④中高英語科の特性に応じた情報機器の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。				◎					○
23UTES2031	家庭科指導法Ⅰ	2	1. 中高家庭科における教育目標と育成したい資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について理解を深める。 2. 背景となる「教科に関する専門的事項」について、指導法という観点から理解する。	①学習指導要領における中高家庭科の目標および主な内容並びに全体構造を理解している。②中高家庭科の個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。③中高家庭科の学習評価の考え方を理解している。④中高家庭科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。⑤中高家庭科の授業を構想する能力を身につけている。				◎					○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	中高教職課程修了に必要な資質能力大項目								
					凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目								
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
23UTES2032	家庭科指導法Ⅱ	2	1. 様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行い、中高家庭科の授業を構築する力を身につける。 2. 中高家庭科を教授する際に必要となる教材活用の理論と方法について学ぶ。	①生徒の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。②中高家庭科の特性に応じた教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。				◎					○
23UTES3033	家庭科指導法Ⅲ	3	1. 中高家庭科の授業を実施するための教科指導力・授業実践力を修得する。 2. 授業を行うにあたって必要な「教員としての振る舞い」を学ぶ。	①模擬授業において授業を実施できる。②模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。③発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。④授業での授業者としての立ち居振る舞いとコミュニケーション能力を身につける。				◎					○
23UTES3034	家庭科指導法Ⅳ	3	1. これまでの歴史と現在の課題を学び、中高家庭科の教員としての資質を身につける。 2. 中高家庭科における教育の実践的課題を引き受け、授業を構想する教員としての実践力を探求する。	①中高家庭科における教育の歴史を学び、自身の指導に取り入れることができる。②中高家庭科における教育の現代的課題を知り、対応する力を身につける。③中高家庭科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。④中高家庭科の特性に応じた情報機器の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。				◎					○
23UTES2035	情報科指導法Ⅰ	2	高校情報科の教育に関する基礎的な知識を学び、模擬授業を通して実践力を養う。	①学習指導要領の内容とそのねらいを理解することができる。②高校での指導実践を参考にして、指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。③学習評価に関する知識を得ることができる。				◎					○
23UTES2036	情報科指導法Ⅱ	2	高校情報科の教育に関する知識を深め、模擬授業を通じた実践力を高める。	①高校情報科の歴史や研究の動向を理解することができる。②高校情報科で育成する力を年間計画の形で構造化することができる。③ねらいを明確にした授業作りを行うことができる。④高校情報科の特性に応じた情報機器の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。				◎					○
23UTES3037	音楽科指導法Ⅰ	2	1. 中高音楽科における教育目標と育成したい資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について理解を深める。 2. 背景となる「教科に関する専門的事項」について、指導法という観点から理解する。	①学習指導要領における中高音楽科の目標および主な内容並びに全体構造を理解している。②中高音楽科の個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。③中高音楽科の学習評価の考え方を理解している。④中高音楽科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。⑤中高音楽科の授業を構想する能力を身につける。				◎					○
23UTES3038	音楽科指導法Ⅱ	2	1. 様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行い、中高音楽科の授業を構築する力を身につける。 2. 中高音楽科を教授する際に必要となる教材活用の理論と方法について学ぶ。	①生徒の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。②中高音楽科の特性に応じた教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。③学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。				◎					○
23UTES3039	音楽科指導法Ⅲ	3	1. 中高音楽科の授業を実施するための教科指導力・授業実践力を修得する。 2. 授業を行うにあたって必要な「教員としての振る舞い」を学ぶ。	①模擬授業において授業を実施できる。②模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。③発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。④授業での授業者としての立ち居振る舞いとコミュニケーション能力を身につける。				◎					○
23UTES3040	音楽科指導法Ⅳ	3	1. これまでの歴史と現在の課題を学び、中高音楽科の教員としての資質を身につける。 2. 中高音楽科における教育の実践的課題を引き受け、授業を構想する教員としての実践力を探求する。	①中高音楽科における教育の歴史を学び、自身の指導に取り入れることができる。②中高音楽科における教育の現代的課題を知り、対応する力を身につける。③中高音楽科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。④中高音楽科の特性に応じた情報機器の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。				◎					○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	中高教職課程修了に必要な資質能力大項目								
					凡例：◎特に重要な科目、○重要な科目								
					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
23UTES2041	理科指導法Ⅰ	2	1. 中高理科における教育目標と育成したい資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について理解を深める。 2. 背景となる「教科に関する専門的事項」について、指導法という観点から理解する。	①学習指導要領における中高理科の目標および主な内容並びに全体構造を理解している。②中高理科の個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。③中高理科の学習評価の考え方を理解している。④中高理科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。⑤中高理科の授業を構想する能力を身につける。				◎					○
23UTES2042	理科指導法Ⅱ	2	1. 様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行い、中高理科の授業を構築する力を身につける。 2. 中高理科を教授する際に必要となる教材活用の理論と方法について学ぶ。	①生徒の認識や思考、学力などの実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。②中高理科の特性に応じた教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。③学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。				◎					○
23UTES3043	理科指導法Ⅲ	3	1. 中高理科の授業を実施するための教科指導力・授業実践力を修得する。 2. 授業を行うにあたって必要な「教員としての振る舞い」を学ぶ。	①模擬授業において授業を実施できる。②模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身につけている。③発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。④授業での授業者としての立ち居振る舞いとコミュニケーション能力を身につける。				◎					○
23UTES3044	理科指導法Ⅳ	3	1. これまでの歴史と現在の課題を学び、中高理科の教員としての資質を身につける。 2. 中高理科における教育の実践的課題を引き受け、授業を構想する教員としての実践力を探求する。	①中高理科における教育の歴史を学び、自身の指導に取り入れることができる。②中高理科における教育の現代的課題を知り、対応する力を身につける。③中高理科における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。④中高理科の特性に応じた情報機器の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。				◎					○